KOBE ROSAI MEDICAL NET NEWS

Medical Net News

Vol. 55（令和5年10月）

病院機能評価認定病院

独立行政法人労働者健康安全機構

神 戸 労 災 病 院

神戸労災病院　代表電話：078-231-5901
地域医療推進室　直通電話：078-231-5925
ファックス：078-231-5926
ホームページ：https://www.kobeh.johas.go.jp

外科部長拝命のご挨拶

神戸労災病院　外科部長　**粟津　正英**

地域の先生方には平素より大変お世話になりありがとうございます。この度、外科部長を拝命致しました粟津　正英（あわづ　まさひで）と申します。

私は2004年に神戸大学医学部を卒業、神戸大学肝胆膵外科に入局し、神戸、大阪などの病院で消化器外科の研修、研鑽を積んで参りました。2013年に神戸大学大学院で博士号を取得致し、外科専門医、消化器外科専門医、消化器がん外科治療認定医、消化器病専門医、がん治療認定医などの各種専門医も取得しております。

前任地の神戸大学附属病院肝胆膵外科では特命助教として臨床や研究に携わってきました。2020年に当院に赴任してからは肝胆膵外科、消化器外科全般の診療を幅広く担当しております。

肝胆膵外科とは

消化器外科の中で肝臓、膵臓、胆嚢に関わる領域が肝胆膵外科と呼ばれます。胆嚢結石症、胆嚢炎などの良性疾患を除くと、肝胆膵領域の悪性疾患は診断、治療共に難しく、一般病院では敬遠されがちです。しかし、その死亡率は消化器では大腸、胃に次いで多く、決して珍しい疾患という訳ではありません。また、その発生母地や発見契機となる脂肪肝、慢性肝炎、糖尿病、胆嚢ポリープなどは日常診療でよく遭遇されているのではないかと存じます。

私は、神戸大学附属病院では肝臓を専門として肝癌治療、肝移植を担当してきました。難治性癌の診療に携わる中で、消化器内科など各科と連係し、正確な診断の元に治療方針を決定し、手術、抗癌剤治療、放射線治療などを実践することの重要さを改めて実感致しました。その経験を活かし、当院でも消化器内科、放射線科などと連携しながら手術を含めた最適な治療を検討することを心がけています。特に超高齢化社会を迎え、心臓や腎臓に慢性疾患を抱える方が増えている現代では、患者さん一人一人に合わせた治療方針の検討がより必要であると考えています。また、手術に関しては2022年から前秋田大学消化器外科教授の山本雄造先生が赴任され、安全な肝胆膵外科手術が可能となっております。私が赴任してからの肝胆膵外科手術では幸い重篤な合併症は無く、皆さんお元気に退院していただけております。先生方の患者さんで「もしかしたら…」とご心配な点がありましたら、気軽にご相談いただければと存じます。

末筆ではございますが、今後も地域の先生方のお役に立てるよう精一杯努力して参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

当院での虚血性心疾患への取り組み

神戸労災病院　循環器内科部長　小澤　徹

令和５年４月１日付けで、神戸労災病院 循環器内科 筆頭部長の任を拝命し、神戸労災病院の循環器内科を主導する立場となりました、小澤と申します。地域の先生方におかれましては平素より大変お世話になっております。また、普段より循環器内科に多くの患者さんを御紹介いただきまして深謝申し上げます。

原則、御紹介いただいた患者さんは、詳細に病歴を聴取した上で、外来にて冠動脈CTあるいは負荷心筋シンチを行い、虚血性心疾患の診断を行います。あるいは負荷検査がやや危険と判断された場合は入院の上で早期の冠動脈造影を行う場合もあります。カテーテル検査・治療を行う場合は、数日の入院をお願いしています。

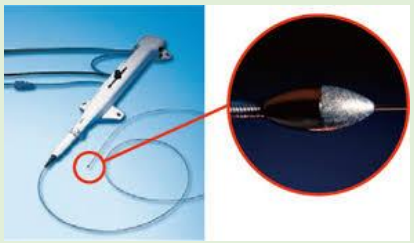
高速回転冠動脈アテレクトミー

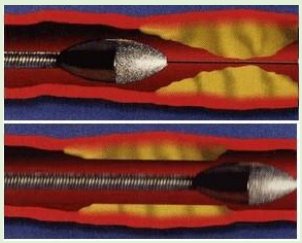
血管壁には様々な動脈硬化性物質が長年にわたり付着し、狭窄を引き起こします。高度な石灰化を伴うことも多く、通常のバルーンや金属ステントでは十分に治療できないことがありました。しかしながら、近年ロータブレーターやダイヤモンドバックといって先端にダイヤモンドチップのついた器具を用いて血管の硬いところを削る治療が当院でも可能になりました。治療中はダイヤモンドチップが高速回転する「ウィーン！」という音が断続的にカテ室内に響きわたります。初めて聞くと少しびっくりしますので、患者さんにも事前に大きな音が出るとアナウンスするようにしています。

心カテ台
ここに横になっていただきます。

このガスでダイヤモンドバーを高速回転（およそ分速19万回転）させます。

カテーテル治療後は、原則として抗血小板薬投与がなされます。バルーンや薬剤溶出性ステントでの治療後は、２剤抗血小板療法を３～６ヶ月行うことが多いですが、個々の疾患背景や状況に応じて期間を変更することもあります。一般論としては、２剤抗血小板療法を永続することは出血性合併症の増加を招きうるので、できるだけ避けるよう考慮します。





ロータブレーター

虚血性心疾患の再発防止予防

併せて、虚血性心疾患の再発防止に向けた、患者さんへの指導・予防医療にも注力しています。糖尿病や高血圧といったリスク因子の洗い出し、食事運動療法をはじめとした生活習慣への介入、薬物加療とその効果の見極め、などでしょうか。これらはある程度長期間の管理が必要ですし、当然我々の力だけで完遂できるものではありません。地域の皆様のお力も必要なことであると認識しております。

なお、栄養指導でお困りの場合、当院の管理栄養士による栄養指導も提供できるようになっております。詳しくは別途同封のチラシをご覧ください。

微力ながらも、地域の皆様のお役に立てるよう、より一層邁進いたす所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

心臓血管外科のご紹介

神戸労災病院　心臓血管外科部長　尾﨑　喜就

心臓・血管外科手術の変遷

現在、日本では年間約7万件の心臓、大血管の手術が行われています。虚血性心疾患では、欧米に比べ**カテーテル治療**がかなり多く行われており、外科手術は減少傾向となっています。心臓弁膜症の手術は増加しており、その大部分が僧帽弁、大動脈弁の手術です。僧帽弁閉鎖不全症ではできるだけ自己弁を温存する**弁形成術**を行うことが望まれ、人工弁置換術よりも生存率を含め、良好な遠隔期成績が得られています。大血管手術も増加し、大動脈瘤や大動脈解離では病変部を人工血管で置き換える**人工血管置換術**が行われます。血管内カテーテル治療も可能となり、ステントグラフトを大動脈内に留置し破裂を予防します。外科手術に比べるとはるかに低侵襲ですが、**病変が上行、弓部、胸腹部大動脈にある場合はステント治療は難しく**、外科手術が必要となります。

2018年度の単独手術に対する死亡率は、冠動脈バイパス術で1.5%、大動脈弁置換術では機械弁、生体弁ともに1.8%、経カテーテル的大動脈弁置換術で1.5%、僧帽弁置換術では生体弁8.2%、機械弁4.6%、形成術0.9%となり、10年以上前と比べ**半減**しています。

当院の心臓・血管外科手術

当科では、**心疾患**に対しまして冠動脈バイパス術、弁形成術、人工弁置換術などの心臓手術を、**大動脈瘤、大動脈解離などの大血管疾患**に対しまして人工血管置換術、ステントグラフト治療を含めました大血管手術を、**末梢動脈疾患**に対しましてはカテーテル治療や血管のバイパス手術などを、また、**下肢静脈瘤**では静脈の抜去手術、ラジオ波による焼灼術やグルー塞栓術などのカテーテル治療と、**循環器疾患全般に対する手術治療**を行っております。

左から　尾﨑部長、深瀬部長、脇田院長、小野部長

お気軽にご相談を

心臓や血管は、普段の生活の中でほとんど意識することなく休みなく働き、私たちの生活を支えてくれていますが、長年にわたり使い続けることで、**ときに問題が出てくる**ことがあります。息切れや動悸、胸やおなかの痛み、歩いた時の下肢の痛みや重だるさ、浮き出た血管が気になるなど、何か気になる症状や心配ごとがありましたら、**手術の必要性に関わりなく**、お気軽に御相談ください。

もしも御入院が必要になられた場合でも、お気遣いいただくことなく、心地よくお過ごしいただけますよう心掛けております。御入院、手術などの診療に関わります費用や、入退院、転院などのご相談につきましても、担当者より丁寧に、わかりやすく説明いたします。

何でもお気軽に、御相談いただけましたら幸いです。

お知らせ

●医療従事者向けメールマガジン「きまぐれロッサ便」創刊！！

この度、当院の**「メール会員」にご登録いただいている医療従事者の方向け**に、ロッサくんがお届けする**メールマガジン「きまぐれロッサ便」**を創刊しました！！

本誌に掲載するまでもないささやかなトピックスや、本誌の発行まで待てないタイムリーな話題、オンライン研修会「Meet The Rosai」のご案内、院内広報誌発刊のお知らせなどを、最低でも月イチ発刊を目標にしていますが、お届けしたい情報次第で、**「きまぐれ」な頻度**になるかと思われます。どうかご容赦くだサイ！！

お届け内容について、こういったことが知りたい等ございましたら、右記アドレス（地域医療推進室）までドシドシお知らせくだサイ！！

メール会員登録、メルマガ配信をご希望の方は、右記アドレス（地域医療推進室）まで所定の情報をお知らせいただくか、ＱＲコードを読み取っていただければ**「登録フォーム」**ページへ飛びますので、所定の情報をご登録くだサイ！！

～ メール会員登録にあたり お知らせいただきたい情報 ～

1. メールアドレス
2. 所属医療機関名
3. 所属部署・役職等
4. 職種
5. ご芳名

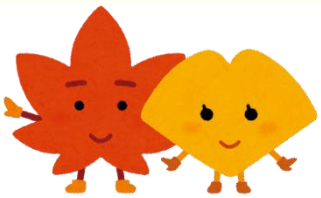
メール会員・メルマガ配信登録フォームQR

（地域医療推進室アドレス）
chiiki@kobeh.johas.go.jp

●人事異動のお知らせ

よろしくお願いします！！（令和５年１０月１日付採用）

- 呼吸器内科　早川　雄輝　（はやかわ　ゆうき）
- 消化器内科　磯本　直輝　（いそもと　なおき）
- 消化器内科　工藤　真人　（くどう　まさと）
- 整形外科　和田　悠花　（わだ　ゆうか）



お世話になりました！！（令和５年8月３１日付退職）

- 地域医療推進室長　森田　瑞穂

お世話になりました！！（令和５年９月３０日付退職）

- 消化器内科部長　久保　公了
- 呼吸器内科　堂阪　啓起
- 消化器内科　堀　開仁
- 消化器内科　中村　駿介
- 整形外科　伊賀　智人

お願い

ご予約の連絡をいただいた当日中に、診療情報（紹介状）と患者保険情報のコピーを地域医療推進室宛てにFAXしていただきますようご協力よろしくお願い致します。

神戸労災病院 地域医療推進室
ＴＥＬ：０７８－２３１－５９２５
ＦＡＸ：０７８－２３１－５９２６
開室時間　平日 8:15～19:00　土曜 8:30～12:30
（17時以降および土曜は診察・検査予約のみ）

▶診療情報提供書等ご送付いただく際は、封筒に「診療情報提供書在中」とご明記ください。